



不審火による火災を防ぐために

毎年、全国で発生した火災の原因で、もっとも多いのが不審火（放火・放火の疑い）によるものです。不審火による火災は、人目のつきにくい時間帯や場所で多く発生しています。放火は、「放火されない」「放火させない」環境を作ることによって減らすことができます。また、「放火されても被害を大きくしない」のも予防のうちのひとつです。

一人一人はもちろん、地域全体で放火をされにくい環境を作り、火災を防ぎましょう。

～あなたの家や地域を不審火による火災から守るための予防対策～

- 家の周りやガレージ、駐車場などに燃えやすい物を置かず、常に整理整頓するようにしましょう。



- 家の扉や物置にはしっかり鍵を掛けて、不審者の侵入を防ぎましょう。



- 古新聞や段ボールなどは、物置や倉庫に入れて鍵を掛けましょう。



- ごみは、決められた日の当日に出しましょう。



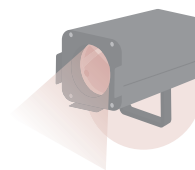
- 夜間は屋外の照明で家の周りを明るくしましょう。暗く周囲から見えにくい場所は、都合の良い放火場所になります。周囲から見えやすくすることで、監視の目が届くようになります。



- 車やバイクのカバーは、難燃製のものを使用しましょう。難燃製のカバーは通常のものとは比べ燃えにくい作りで、延焼をおさえることができます。



- センサーライトや防犯カメラなど、放火防止や早期発見に有効な機器を設置しましょう。建物とガレージが一体となっている住宅では、ガレージ内に住宅用火災警報器（熱式）を設置すると、火災の早期発見に有効です。



不審火による火災を防ぐためには、市民の皆さんの力が必要です。

地域社会の一員として、お互いに協力し、火災を発生させない環境づくりを進めましょう。